

質問3 アンケート回答結果・検証

《受講決定者数、開催回数等について》

多くの研修で受講決定見送者が出ている状況が続いています。この2年間、新型コロナウイルス感染症の影響により、研修が中止になったり各市町村で研修受講を控えたりしていた状況があり、このことが今年度の各市町村からの受講推薦者数に影響しているものと考えています。

今後、新型コロナウイルス感染症の影響が低減したのちの1～2年間は、研修受講推薦者数が多めに経過していくものと推測しており、この状況はまだしばらく続くものと考えています。

研修実施回数については、研修室を道職員の研修室と同じ施設を利用(借用)していることや現在の予算規模から年間の実施回数80回程度を上限としています。研修の新設や実施回数を増やすためには、既存研修の見直しや回数減などを踏まえて考えていく必要があります。

オンラインでの研修については、研修カリキュラムや内容を踏まえ、対面式からオンラインへの変更や複数回行う研修については、対面式とオンラインとの二つの形態での実施などについても検討して行きたいと考えています。

新型コロナウイルス感染症関係での受講辞退者や見送り者などについての当該年度及び次年度での優先的な受講者決定等の配慮に関しては、現状、その数が多く100%ご希望にお応えすることはできませんが、できるだけ各市町村の平等性を図りながら受講者を決定していきます。

《開始時間等について》

これまでも研修初日の開始時間についての要望は多数あげられてきました。当研修センターとしても遠隔地からの移動負担や前泊を伴う出張の費用等の負担などについては、十分認識しているところです。一方で、研修最終日の移動を考慮し、最終日の研修終了時間を16時としており、研修カリキュラムを組む上で現状の研修初日の開始時間(9時30分)を後ろ倒しすることは、研修効果を得るために十分な時間を確保できないとの判断から、このような時間設定となっています。

なお、3日間の日程で行う研修は受講者の職場への負担などが大きいことから、一部の研修を除き2日以内の日程でカリキュラムを組み実施しているところです。

《オンライン等の研修について》

コロナ禍といった事情により、一気に導入してきたオンライン研修ですが、単に既存の研修をオンラインで行えば良いといったものではなく、オンラインでの実施に適した資料の作成や講義の進め方など、様々な条件を整えることが必要と考えています。

今後も、研修効果が十分期待できるものについては、オンラインでの実施を継続し、他市町村の職員との交流に適した対面での研修についても継続して実施したいと考えています。

PC一人1台の制約に関しては、グループワークを取り入れた研修を行ったり、受講者の研修受講・離脱確認をしたりするために必要な条件と考えています。通信環境の整備を含めPC機器の準備などにつきましては、各市町村でご対応くださいますようお願いいたします。

《研修内容等について》

各研修の終了時に行っている受講者アンケートの感想や意見の欄では、各市町村職員の方から「人材育成」「ストレス」「メンタルヘルス」といったワードの記載が良く見られました。今回のアンケート調査だけではなく、このようなご意見・ご要望を踏まえ受講者の研修ニーズに応えられるよう新設研修の導入など、検討を進めていきます。

これら各市町村の研修ニーズを踏まえた中で、新しい時代の自治体職員に必要なテーマなどについても検討し、研修の充実を図って行きたいと考えています。

《その他について》

受講推薦書様式の見直しなど、各市町村の取りまとめ担当者の方にできるだけ負担がかからないよう改善に向けた検討を行います。また、受講案内時の研修計画書の該当ページ添付に関する要望についても次年度からの対応に向けた検討を行います。